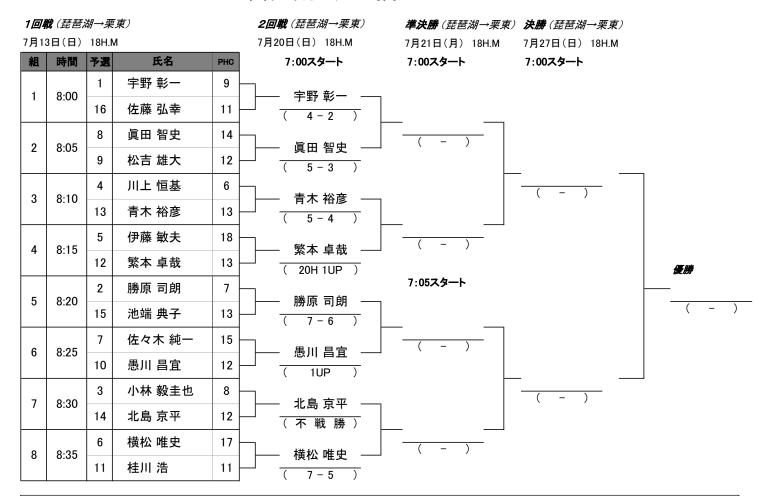
## 令和7年 山岡記念杯

## <組合せ及びスタート時間>



## ■競技特別規則

- マッチプレーにおいて、2人のプレーヤーのコースハンディキャップの差(100%)をハンディキャップの多いプレーヤーが受け、 ハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーする。
- 2. 両者のハンディキャップ差が奇数の場合は、アウトコースに最終のハンディキャップを付与する。
- 3. 1番ホールの打順はコイントスにより決定する。
- 4. プレー進行の為、ホールとホールの間の練習は禁止とする。この違反についての罰は次のホールの負け。 最終ホールで違反があった場合はそのホールの負け。但し、「ホールの結果が決定したプレーヤーがそのホールを終える為に 行ったストローク」は練習ストロークではない(規則5.5a)。
  - ① 通常のプレーによるそのホールのホールアウトまでは、プレーを続けることが出来る。
  - ② コンシードされた後、ストロークする事が出来る(コンシードは認められる)。
  - ①及び②は練習ストロークとはみなさない。
- 5. マッチプレーにおいて、規定ホール数に達するまでに勝者が決定した場合は、その後のプレーを禁止する。
- 6. 9ホール終了時、プレーの進行に支障がない範囲で指定練習場の使用は認める。
- 7. 欠席者が出た場合、選手の追加はしない。なお、この場合対戦者は不戦勝となる。

## ■注意事項

- 1. コースの先行権を有するが、他のプレーヤーに対する配慮として、プレーは迅速にハーフ1時間45分を目途に、前の組との間隔を開けないようご注意ください。
- 2. 他の組をパスする際は、エチケット・マナーとして必ずパスの挨拶をお願いします。
- 3. マッチプレーに於いてオールスクエアに終わった時は、スタートコース1番ホールより勝敗の決するまで試合を続行する。
- 4. 欠席の場合は必ず事前にお知らせください。スタート30分前にはご来場ください。